

＜主張点＞　日本には、敵国の死者でも丁寧にともらうというヒューマニズムにあふれた文化がある。

戦争と日本人の慰霊文化 授業案



日露戦争の旅順の戦いです。155日間血みどろの激しい戦いが行われました。戦死傷者　日本 約59000人。ロシア 約35000人。日本はこの慰霊碑を建てました。誰のための慰霊碑でしょうか。

戦争死したロシア兵の慰霊碑です。

慰霊碑が出来たのは戦争が終わって2年後。日本とロシアで合同の慰霊祭を行いました。ロシアの人は、敵の慰霊碑を建てるなど、世界に例がないといって日本人を心から尊敬したのでした。

お隣の中国では、王朝が変わると、九族殲滅ということをします。前の皇帝の一族、皇帝を含む上4代、下4代、皆殺しにします。墓も壊します。敵に対しては厳しい文化を持っているのです。

日本は、太平洋戦争に敗れてこの地を去るまで、この慰霊碑やロシア兵の墓地をとても大切にしていました。日本が勝った戦争です。

次は日本が負けた太平洋戦争です。日本は、敵のアメリカ兵の慰霊碑を建てたり慰霊祭を行ったりしたのでしょうか。したと思う人？しなかったと思う人。

戦後になって、元アメリカ兵や遺族を招いて、激しい戦いがあった硫黄島で平和の願いをこめて合同の慰霊祭をしています。日露戦争と同じようなことをしているんですね。

さて、ここまででは軍人同士の話でした。太平洋戦争の末期B29が日本を無差別爆撃をします。約50万人の罪のない人が殺されたのです。

東京都青梅市に1機のB29が墜落しました。当然、そこには焼けこげた搭乗員の死体があります。住民は、その死体をどうしたと思いますか。自分の考えとその理由をノートに書きなさい。

住民は、死体をほったらかしにしていたそうです。

そこに「敵国人であっても、死ねば同じ人間なのだから、丁重に埋葬すべきだ。」と呼びかけた人がいました。地元の警防団といっしょに丁重に葬ったそうです。墜落地に地主さんが、密かに慰霊碑をたてました。それからもずっと慰霊碑を大切にしてきました。その話しが最近在日米軍にも伝わりました。そして今年の4月2日に、米軍の代表者を招いて合同慰霊祭を行いました。

さて、日本で撃墜されたB29は、485機。3041名の米兵が亡くなりました。慰霊碑は、ここだけじゃない他にもあると思う人。ないと思う人。

先生、気になって岡山空襲について調べてました。1機のB29が墜落していることが分かりました。もちろん搭乗員は、死んでいます。さて、墜落したところにいた地元の人は死体をどうしたと思いますか。

手厚く葬ったそうです。戦争が終わって進駐軍が、墜落現場を調査しに来た時、それを知って大変感謝したそうです。

平成になって岡山空襲資料センターが設立され、岡山空襲の犠牲者名簿を作成しました。

その中に、11名のB29搭乗員の名前が、岡山空襲の犠牲者として載っているのです。

日本各地に、墜落死したB29の搭乗員の慰霊碑があるのです。日本には敵国の死者を丁重に葬り、そして平和を願うという文化があるのです。今日の授業の感想を書きましょう。